

表紙物語

今月号の表紙は黒滝地区の成田光生さんがりんご樹の抜根作業を行う様子である。

JAのりんご園充実事業として、相馬地区の成田光弘さんと機械2台で管内の生産者の抜根作業を請け負っている。その中でも成田さんは約30年取り組んでいる大ベテランである。

抜根事業は2人で春と秋を合わせると約750時間で5000本近く行っている。何十年生の根張りの強い大きい樹も約5分かけて抜く。この作業のおかげで手作業よりも簡単に園地の若返りをする事が出来ている。

自身の農作業も忙しい中ではあるが、「JAが組合員の為に仕事をできるように、自分自身も同じ農家として生産者の力になりたい。自分がやることで喜んでくれることがやがていを感じる。」と話してくれた。

これからも成田さんの活躍を陰ながら支えていきたいと思っております。



抜いた後は綺麗に整地



強靱な根もベテランの技でなんのその



狭い樹園地も細かい操作で移動



抜いた根を4本まとめて持ち運ぶテクニック

JA相馬村広報

林檎の森

2021.5 Vol.466

- 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
- 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
- 発行日
2021年5月15日

JA 相馬村概況

〈令和3年4月末日現在〉

組合員数	864人
(うち准組合員数)	372人
出資金	620,950千円
貯金額	9,718,335千円
共済保有高	3,244,509万円